

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	コロナ禍に対応した子供の健全育成の「命の授業」
事業主体 (連絡先)	ジングルライダー 長野県飯田市北方3872-11
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,265,000円(うち支援金:948,000円)

## 事業内容

有害鳥獣の鹿皮を活用した反射材の交通安全の御守り手作りキットを配布し、コロナ禍でも非対面で製作できるように動画を活用して反射材着用の重要性とともに、飯田警察署と協働製作した交通安全動画で子供たちに命を守ることの大切さを伝えました。また、獨協大学のゼミと協働で有害鳥獣の紙芝居動画を作り有害鳥獣問題を一人でも多くの人に知ってもらうように工夫しました。獨協大学、下伊那の保育園、全国の一般の方を対象に御守り手作りキットを1100個、製作配布しました。



伊賀良保育園

## 【目標・ねらい】

- ①有害鳥獣の鹿革活用
- ②反射材の普及
- ③コロナ禍に対応した交通安全教室(いのちの授業)

## 事業効果

- ①獨協大学のゼミと協働で紙芝居を製作し、鹿皮を活用したいのちの大切さを伝える手作りキットを作ることができました。
- ②今年度は対象を大人にも広げたことで、反射材の理解が一層深まり、活動に賛同してくれ一緒に活動してくれる協力方が全国的に増えました。昨年度作った御守りを今でも大切にしている子供たちが多く、事業の中で歌うオリジナル交通安全の歌も覚えてくれていて、今までにないユニークな交通安全活動に保育園・飯田警察署・飯伊交通安全協会から高評価を得られました。
- ③コロナ禍でも活動できる、動画等の活用での非対面の仕組みを作ったことにより、全国に普及することができました。

## ※自己評価【A】

## 【理由】

コロナ禍により迅速に事業が進みませんでしたでしたが、子供たちの居場所作りで成果があり、行政、他団体との連携体制が整いました。

## 今後の取り組み

昨年度は「有害鳥獣」「交通安全」「子供たちの居場所」を組み合わせた「命の授業」活動の大きな第一歩を踏み出しました。今年度は世界的にコロナ禍となり、交通安全教室ができないなかで、オンライン化で非対面でも活動ができる仕組みを作ることができました。「子供の居場所作り」ではNPO法人はなぶさ学園を設立することができ、不登校3名。子育てシングルマザー家庭8戸、DV被害者親子3名の支援をすることができました。子供たちの支援をしていくとお母さん達が生活に余裕がなく、お母さん達が疲労しているのが原因であることも分かりました。コロナ禍で不況が訪れシングルマザーが働き場所が失われているなかで、今後は行政、協力団体と協力しあい、この活動がシングルマザーの働き場所になるように福祉活動にも繋げていきます。